

平成 28 年 3 月 28 日

北海道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会  
北海道に津波被害をもたらす想定地震の再検討ワーキンググループ  
平成 27 年度報告

## 1. 検討経緯

東日本大震災を踏まえ、道の諮問を受けた「北海道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会」は、平成 23 年 6 月に「北海道に津波被害をもたらす想定地震の再検討ワーキンググループ（以下、「津波 WG」という。）」を設置し、想定津波の点検・見直しに着手した。

津波 WG では、日本海沿岸地域については、平成 24 年度、平成 25 年度の津波堆積物調査の結果から、現行の津波浸水予測図を上回る複数の津波発生が判明したことから「国の検討結果も踏まえ、検討を早急に進める。」との結論に至った。

このような中、国は平成 26 年 8 月に「日本海における大規模地震に関する調査検討会報告書」において津波断層モデルを公表したことから、津波 WG では、同年 9 月から審議し、検討を進めている。

## 2. 今年度の津波 WG での検討

平成 26 年度の検討に引き続き、平成 27 年度においては、国が示した津波断層モデルの考え方を基本とした上で、北海道南西沖地震津波の経験等を踏まえた視点を加えて、各市町村に最大クラスの津波の影響が考えられる津波断層モデルを検討し、津波浸水シミュレーションの計算対象の絞り込みを行った。

また、この津波断層モデルを使用し「津波浸水想定の設定の手引き（平成 24 年 10 月 国土交通省）」の計算手法に基づき、津波浸水シミュレーションを実施し、国との調整内容を考慮しながら、検討を進めている。

## 3. 今後の津波 WG の検討事項について

津波 WG では、引き続き、国への説明や協議状況などに応じ、ワーキンググループでの議論を進めながら、津波浸水想定のとりのまとめを急ぐこととしたい。